



最終講義

第2世代非損傷時復原性基準の理論的背景

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

大阪大学大学院工学研究科地球総合工学専攻教授 梅田直哉先生におかれましては、2023年3月末日をもって定年退職されることになりました。先生が長年携わってこられた船舶復原性基準のうち、第2世代非損傷時復原性基準（MSC.1/Circ.1627）について、その技術的背景を学部3年生用レベルで解説する最終講義を企画いたしました。

是非、多くの皆様のご参加を賜りたく、ご案内申し上げます。

橋本 博公・牧敦生・荒木元輝・酒井政宏

— 記 —

- 日時：2023年3月22日（水）1300～1600
- 場所：Zoomでの実施です。（URLは後程、メールでお伝えします。）
- 参加費：無料、要事前登録

- ・ 第2世代非損傷時復原性基準の理論的背景：（梅田直哉）
 - 第2世代非損傷時復原性基準の意義と構成
 - 復原力喪失現象
 - パラメトリック横揺れ
 - ブローチング現象
 - デッドシップの復原性
 - 直接計算基準と操船ガイダンス

原則として、オンラインでの参加をお願いをできればと存じます。なお、梅田先生指導で卒業論文・修士論文・博士論文を書いた卒業生の方々には、現地（大阪大学附属図書館 理工学図書館 西館3F 図書館ホール）参加も歓迎します。オンライン・対面問わず、下記URLから参加のご登録をお願いいたします。後日、ご登録いただいたメールアドレスにZoom URLを送付いたします。

学外からご来場の方は、以下のアクセス・キャンパスマップをご参照ください。

<https://www.eng.osaka-u.ac.jp/ja/access/>

ご参加のお申し込みは、3月21日（火）までに下記URL（QRコード）からお願いいたします。

<https://forms.gle/yKjUQLXbcizQXPi16>

問合せ先：船舶知能化領域

E-mail：5th@naoe.eng.osaka-u.ac.jp

